

室内

室内はこう見るとZ33の写真ではないか?と疑ってしまうほどだけど、ドアやフロントウインドウを見るとS30という不思議。綺麗に入っているだけに不思議な景色



スピード&タコメーター、燃料/水温メーター周りはZ33をそのまま流用しているのZ33の見た目まま



ブレーキ、クラッチ、アクセルペダルもまままZ33。配置も自然でノーマルのS30よりも扱いやすかった



シートはレカロのリクライニングを2脚装着。



シフトやミッションもまままZ33でセンターコンソールもZ33を使用しているからこれだけ見ると頭がごちゃついてくる



シートの後ろにはZ33の小物入れがそのまま取り付けられているから、書類などの収納も整理できる。S30よりもさらに2シーターの作りだ



トランクルーム

バッテリーはあえてエンジンルームには置かず、トランクルームに配置する



リヤゲートを開けるとストラットケースに直に取り付けられた補強パイプが目に入ってくる。真ん中のは左下で紹介するけど、小物入れ。その前にはロールバーがきちんと入っていて剛性と安全性を両立

ストラット上部はエンジンパワーに合わせてかなりの補強がされている。ストラット自体を強靱に止めている。赤の巻き取り式のシートベルトもなかなかおしゃれ



ロッキーオート 渡辺社長

旧車業界の第一人者と言っていいほど行動力に溢れ、業界からの信頼も高いロッキーオート渡辺社長。もちろんお客さんからの信頼も高く、一度ロッキーオートから車を購入するとその後も何台も購入していく(増車)人も多い。「いい車があるので是非乗ってください!!納車されちゃうので」と、納車寸前に試乗させてもらった(試乗が終わった直後にオーナーさんが持って行きました!)



石川編集長



試乗時期はちょうど梅雨時でまさしく雨の中の試乗となってしまったけど、街中を走るこの車のポテンシャルを思う存分楽しめましたよ!

HSL30改 VQ35搭載フェアレディZ



説明が要らなごらん! 有名なシビックです! 見せるだけでなく、乗って赤裸々に感想を言つこのコーナー、難しい言葉で誤魔化さず誰にでもわかりやすい言葉で試乗したクルマの印象をみんなに伝えるこのコーナー、今回は愛知県岡崎市にあるロッキーオート。本誌でもお馴染みだけど旧車に最新スポーツ系のエンジンを搭載、それだけでなくエアコンやパワステなどの快適装備も移植し、現代でも普通に乘れる旧車というジャンルを開拓して一躍有名になったのは、みんなもご存知の通り。近頃でいうとトヨタ2000GTのレプリカ、トヨタ2JZの3リッターエンジンを搭載したトヨタ3000GTでも話題沸騰だけど、今回はあえて完成の域に達したであろう最新スポーツ系エンジンを搭載した車両に乗ってみようと思えます。





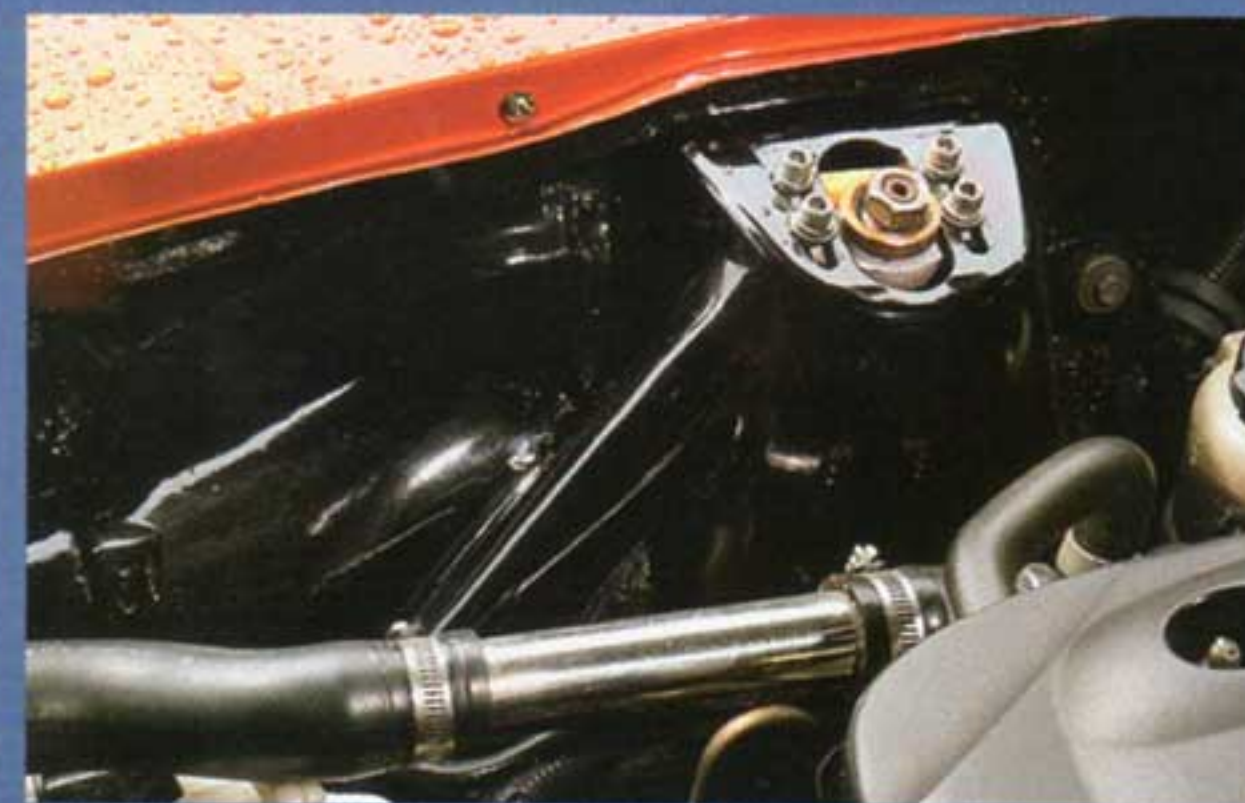
エンジン



ラジエーターやコンプレッサーもZ33ノーマルを使用。S30は比較的開口部が広いのでそのままついでしまっ。電動ファン仕様だ



ストラットケースよりも後ろにエンジンがマウントされているのがわかる。ノーマルよりも重量配分が良さそうなのもモノ



ハイパワーなエンジンを搭載するにあたり、このようにいたるところにパイプを溶接し、剛性を上げているのでしっかり感も高い。



マフラーはタイコは柿本改を仕様するが、センターはワンオフ



樹脂製のタンクに交換し容量を上げている。燃料ポンプはインタンク式を取り付けている



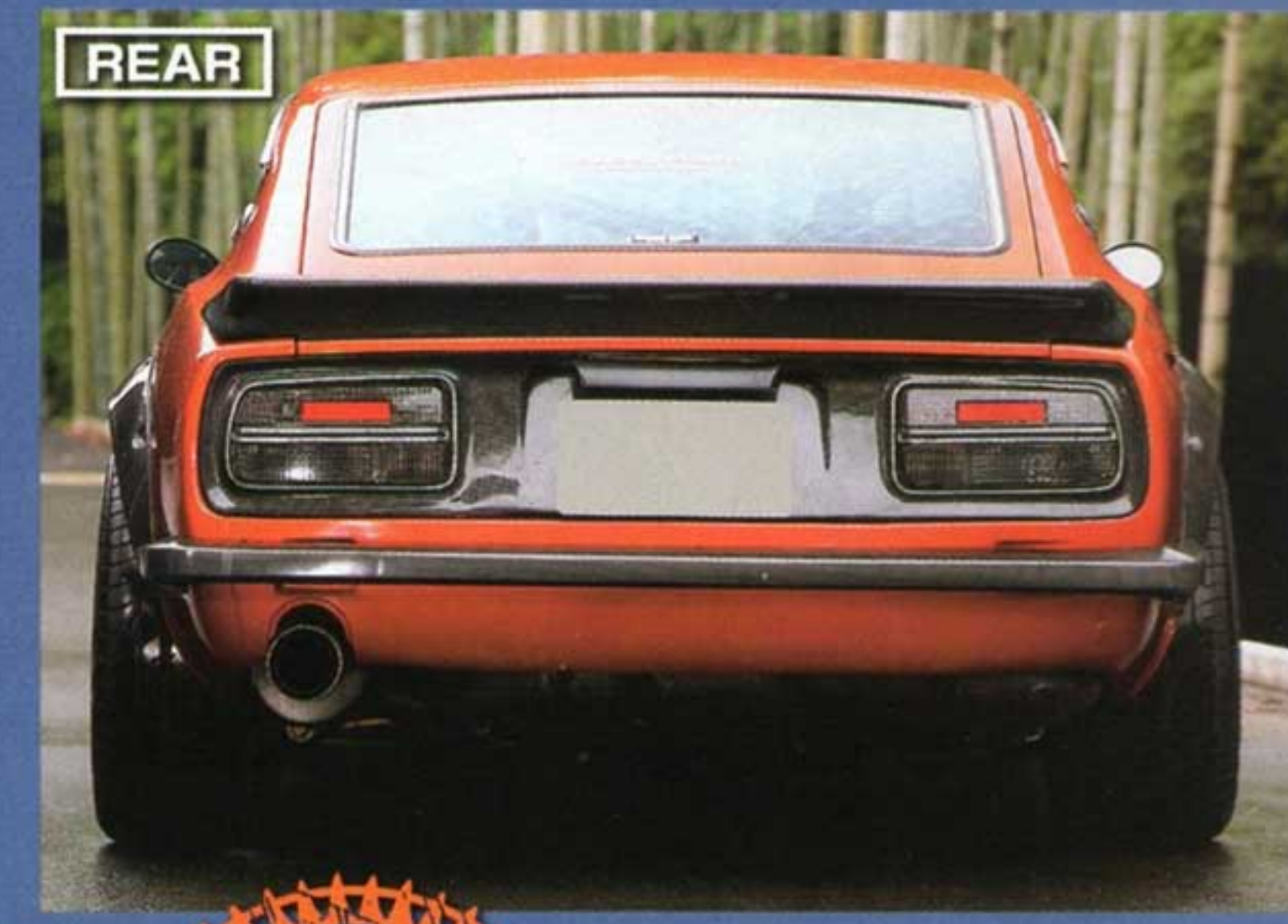
昭和47年式 HSL30改 フェアレディZ

ロッキーオート

愛知県岡崎市 小美町字殿街道153 Tel 0564-66-5488



中身はR32GT-Rで外観はまんまケンメリ、トヨタ3000GT、旧車に最新エンジン&快適装備と話題に事欠かないロッキーオート。ショールームや歓談スペースも(予約制)。毎年、ポートメッセ名古屋で行われるオートレジェンドも、横浜銀鯉等のアーティストとクルマ展示など来た人を飽きさせない演出。今年も9月に行われるからみんなも仲間を誘って行こう!!G-ワークスもブースを出すからね!



REAR



FRONT

比較的小となし目に製作されたこの車両だが、カーボン柄をうまく使い走りのイメージをより引き立てているのは、リヤ側も同様で、初期型のワンテールもそのイメージを際立たせている

ロッキーオートS30のイメージ的な印象の一つが、ボンネットが黒。この車両もカーボンボンネットが装着され、フロントスポイラーとのバランスも両立



LEFTSIDE



オレンジとカーボン柄というのかなり精悍なイメージで派手さの中に渋さを感じる大人のクラマ的なスタイルを作り上げている

S30の理想形が 現実になった!! 程よいパワーのエンジンに、FR駆動そして軽量な車体というパッケージは車乗りにとって憧れというか、目指すクルマ的なところがあるけど、今回試乗させてもらうVQ35搭載のS30もまさにそれ。ノーマルのS30初期が車検証上では1tちょいで、今回試乗したVQ35搭載のS30がそれプラス30kgくらいだから、まだまだ軽い部類で快適装備も満載。ダッシュボードや小物入れなどもZ33用をうまく使っているから、普通に使えてスポーティーで、さういふパッケージの完成度は、さらに高くなった感じだね。 そそく乗ってみるとヘダル配置もZ33ままだこれがまたノーマルの配置よりも使いやすいかった。シフトの位置がちよっと後ろで操作しにくかったけど、自分がバ力がかいかから183cm体重74kg)シートポジションを見直せば済む話。後で調整すれば良いからね。走り出すとクラッチの操作もVQのノーマルだから楽チン、トル



Z33初期のVQエンジンは排気量の割に低速のトルクがなかった印象だけど、S30に積むとちょうどいいトルク感で、雨の日も比較的アクセルを踏んでいける

という理想的なレスポンス。かといって市街地の低速走りもグクシヤクシヤしない。 峠道を走ってもグリップ感が高く、雨降りなのに結構なペースで走ってもリヤが巻き込みみような感覚もなく、ステアリングを切ったのグリップ感も感じるから安心。 初期の頃によく取り付けられた旧車用パワステ(鈴木軽用を流用)はハンドルは軽くなるけど、このグリップ感が少なくちよっと怖い感じだったけど、これはそんな好み領域でも嫌かられること少ないオイルポンプを使っているから、全く違和感ないというか安心してステアリングを切れる。 かなり熟成されたロッキーオート車両、この時代にあえて旧車のボディにハイパワーエンジン搭載車両に乗る意味、楽しさを再認識しました。



REARタイヤ



FRONTタイヤ

ホイールは前後17インチで前235/40、後ろ255/40のR1R。フロントブレーキはウイロッドでベルがアルミの2ピースローター、リヤもディスク化されていて駐車ブレーキももちろん備わっている

21世紀究極のクルマ改造本! G-works

ジーワークス



800馬力で復活GT-R!

2016

9

定価: 580円

シャコタンを極める!!



夢の
旧車生活
ケンメイ兄弟編

ナローで深リムを追求



浜松のシャコタン

VQ35搭載
S30



ロッキーオート

G-ワークスドラッグ



in セントラル